

浜 私 幼

(公社)横浜市幼稚園協会 協会報 No286

公益社団法人 横浜市幼稚園協会 発行
 〒221-0055
 横浜市神奈川区大野町1-25
 横浜ポートサイドプレイス
 アネックス5F
 電話 045 (534) 8708
<https://www.kids-yokohama.or.jp>
 編集 横浜市幼稚園協会広報部
 発行者 清水純也
 印刷所 株式会社横濱大気堂



横浜市幼稚園教育研究大会 分科会のご報告

令和6年1月17日(水)・20日(土)に、教育研究大会の分科会が開催されました。9つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて研究の成果を発表しました。今大会のテーマ「**未来に向かって子どもが主役の幼児教育を**」の実現に向けて、熱い議論が交わされました。来年度以降も、引き続き学びを深めるための研究・研修を行って参ります。

第1分科会

特別研究委員会 1

テーマ: **遊びを通して子どもは育つ**
 ~遊びの中の学びを「見える化」してみませんか~

講師: 宮里 暁美 先生
 (お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション特任教授)

第2分科会

磯子支部

テーマ: **支援の必要な子、保護者、保育者が繋がり、育ち合う毎日に!**

講師: ヴィヒャルト 千佳こ 先生 (臨床心理士)

第3分科会

都筑支部

テーマ: **子どもの発達ステージは森の中**

講師: 高橋 良寿 先生 (五感教育研究所所長)

第4分科会

戸塚支部

テーマ: **支援の本質とは**

講師: 西野 奈津子 先生
 (NPO法人鎌倉育ちあいの家理事長)

第5分科会

特別研究委員会 2

テーマ: **子どもとの対話を対話しよう**
 ~子どもの主体性を尊重した保育の充実を目指して~

講師: 三谷 大紀 先生
 (関東学院大学教育学部こども発達学科 准教授)

第6分科会

特別研究委員会 3

テーマ: **インクルーシブな視点から保育を見直してみませんか**
 ~一人ひとりが自己発揮できる保育について考えよう、語り合おう、見つけよう~

講師: 吉川 和幸 先生
 (国立特別支援教育総合研究所 研究事業部総括研究員)

第7分科会

西支部

テーマ: **子どもと食べもの**
 ~『食べる』ことの楽しさを、子どもにどのように伝えるか~

講師: 鵜池 香織 先生 (管理栄養士)

第8分科会

港南支部

テーマ: **様々な記録を通して学びを深める**
 ~記録をとることが明日への保育へつながる~

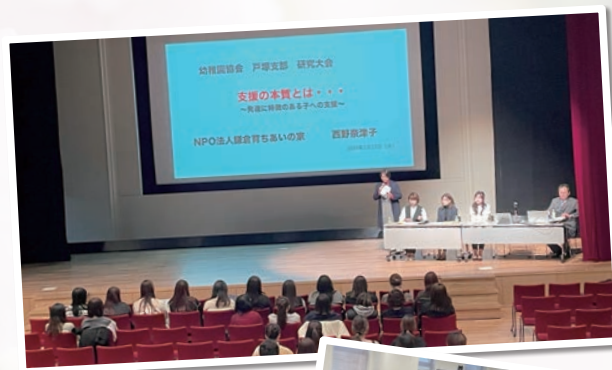
講師: 河邊 貴子 先生
 (聖心女子大学現代教養学部教育学科 教授)

第9分科会

緑支部

テーマ: **保護者への理解を深めるために**
 ~自分を知ろう・相手を知ろう・地域支援の資源を知ろう~

講師: 木村 博子 先生 (NPOりんぐりんく理事長)



保護者の会、こんなことをしてます。

ごあいさつ

こんにちは。横浜での幼稚園生活、楽しんでいらっしゃいますか？今年度、横浜市幼稚園保護者の会の会長をさせていただいております、樽本万里子です。実は、昨年度も活動をさせていただいたのですが「やってみると思いのほか楽しいなあ。あまり知っている人がいないのは勿体無いなあ。」と感じました。そこで、今年度は保護者の会の活動を沢山の人にお伝えしたいと思い活動してきました。今回この記事で、皆様に少し詳しくにお伝え出来たらいいなと思っています。楽しく読んでくださると嬉しいです。



保護者の会 きほん情報

- ★「横浜市幼稚園 保護者の会」には、横浜市の18区から2名ずつ、計36名(委員、常任委員が18名ずつ)の保護者の方が選ばれて活動しています。そして常任委員の中から、会長1名、副会長2名、監事1名、会計1名を決め、その5名が中心になって活動しています。
やってみたい方は、園長先生に推薦していただくことで、委員や常任委員に立候補することができます。
また、保護者の会を盛り上げていくために会則も変わっており、数年間連続で活動することも出来るようになりました♪
- ★「横浜市幼稚園協会」には、横浜市の幼稚園の約90%の247園が加盟しています。この広報誌を読んでくださっているあなたの園は加盟園です♪

それでは活動内容を紹介

1. まずは仲間集め! (4月・5月)

前年度の5役で作戦を練る!
やったこと

- ①トーク力抜群のメンバーが司会を担当し会議の雰囲気盛りあげました♪
- ②チラシ作成「今年度はゆるキャラとポスター作ります。やってみたい方大募集!!」
結果⇒それぞれ強みを持った5人が立候補によって決定しました♪

新役員を決めるときは、入りやすい楽しい雰囲気をくろう!

2. さっそく、一番の大仕事!! 予算要望 (6月)

36名のうち、集まってくれた有志メンバーで、園生活で困っていることやこんな風にならなりたいという意見を出し合いました。

⇒この時のお話をまとめて、自民、公明、立憲の3党に要望をお伝えしました。とっても緊張しましたが、幼稚園保護者の生の声を、直接横浜市の中核にお伝えできる貴重な場。どうすればより伝わりやすいかなど相談して5人で臨みました。良い経験になりました♪



3. ゆるキャラ「よっぴい」誕生

2. で集まった際に相談。保護者の会公認キャラクター「よっぴい」爆誕!!

かねてより、活動を知ってもらうためには、子どもの目にも大人の目にも留まるようなゆるキャラが絶対必要! と思っていました。

絵を描く技術をお持ちの方も来て下さり、目の前でさらさら〜っと出来上がっていく「よっぴい」にみんなで「おお〜!!」と感激しました。



4. 政令指定都市団体協議会 (7月)

有志2名で広島へ行ってきました!

幼児子育て中に1泊はムリ……というところからスタートしましたが、「私行こうかな!」っていう勇氣あるメンバーに引っ張られ、行きたくなり参加。我が子たちの園生活や学校生活は色々な方々に支えられており、より良い方向へと進んでいることを実感。そして、知ることは日々の生活の安心に繋がることが学びました。皆さんとも共有したい内容が沢山あります。その他、現地の文化に触れたり平和について深く考えたり、広島のママさん達とお話したり。チャンスがあるならみんなで行きたいくらいです。



5. 幼稚園大会 (8月)

日頃頑張ってくださっている先生方に勤続の表彰式をしています😊

今年はコロナも明け、盛り上がりを見せていました♪

大会の後半は「NICU命の授業」をお聞きしましたが、家族愛を強く感じる先生のお話に、みんな涙しました😭



6. ポスター完成(8月) 初企画

8月末に完成しました！
見ていただけると嬉しいです。



みてくれたかな？
よっぴいも
載ってるよ♪

7. 幼稚園の見学・取材！(9月) 初企画

あるメンバーが、「幼稚園の先生のお仕事の裏側を皆さんにご紹介するのはどう？」って言いました。コロナ禍で、先生方と関わる時間も減ってしまったことから、もっと先生たちを身近に感じたい！という想いで記事を作成中です★



8. わくわく☆子育てセミナー(9月)

保護者の会が主催で、年に1回講演会を開いています。今年度は「収納王子コジマジック」さんに来ていただきました。当日、まさかの台風でしたが、芸歴30年の収納王子コジマジックさんのトークは台風の影響を全く受けて、面白くてとっても為になるお話でした！



9. 秋のおしゃべり会(10月) 初企画

“保護者の会を知っていただく企画 vol.1”。委員の有志と2名の園長先生方にご参加いただき、活動内容をご報告。また、6月の予算要望に向けての話し合いで話題になった「加配の先生の確保」について、園長先生方に詳しく教えていただきました。色々なお話が聞けて、とても有意義な楽しい時間でした♪



今年度は、メンバーのやってみたいことが沢山あったため、集まる回数も例年より多めでしたが、その年によって自由にやりたい活動を実現できる場です 😊

上半期の活動はこのような感じでした。
下半期は、新年意見交換会や、来年度へ向けての話し合いが実施される予定です(^^)

?! そもそも、幼稚園協会って？

☆ここ、なかなかつかみにくい部分だと思います。横浜市は、全ての幼稚園・認定こども園が私立だということ、ご存知でしょうか。「横浜市幼稚園協会」では、各園の意見や要望をまとめて市や県に伝えたり、全国の協会と繋がりを持ち、日々進歩していく教育を取り入れるための情報交換や研修会を行ったりしています。他にも、幼稚園教諭を目指す方の就活サポートなど、協会のお仕事は幅広いです。



みんな、もうすぐひとつ上のお兄さんお姉さんクラスだよ。

年長さんはもうすぐ卒園だよおめでとう！

よっぴいはいつも へんしんごっこであそんでいるよ。
今度はシールにへんしんしたいよ。

保護者の会、これから

ちょっと真面目な話になってしまうのですが、文部科学省のHPに、「幼稚園とは、3歳以上の幼児を対象として、幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする**学校であって、小学校以降の生活や学習の基盤を培う学校教育のはじまりとしての役割を担っているものをいう。**」という言葉が載っています。

この文章をみて、「そうか、幼稚園は小学校に行く前の学校なんだ。」と、はっとしました。私個人的には、今小学校で起きている様々な問題に向き合っていくために、幼稚園で小学校の準備をすることは、とても大切な事なんじゃないかなと思っています。そんな幼稚園の存在を、色々な界限でアピールしていくことも、保護者の会の大切なお仕事なのかなと感じている今日この頃です。

最後まで読んでいただきありがとうございました。これからも「よっぴい」と保護者の会にご注目いただき、一緒に盛り上げていただけると嬉しいです♪



子育て教育相談室より

脳を元気に育てよう!

横浜市幼稚園協会 子育て教育相談員
公認心理師・臨床心理士

鈴木 由美子



3学期もそろそろ終わりですね。この1年の間に子どもたちはずいぶん成長したと思います。新入園や進級した4月のことを思い出してください。あの頃いろいろと心配だったことも今はもう大丈夫になっていませんか?

お子さんと一緒に「こんなこともできるようになったね」「すぐ泣いてたけど泣かなくなったね」「お話が上手にできるようになったね」「縄跳びもできるようになったね」「背が伸びたね」など 成長したところをたくさん見つけてみませんか。

「今」「ここ」を生きているのが子どもたちですが、少しずつ時間の流れもわかってきます。年少さんが「きのう」という言葉を使っても、それはずっと前のことだったりすることはよくあるでしょう。年長さんくらいになると 記憶も随分しっかりしてきて「きのう」と「ずーっとまえ」がはっきりしてくるでしょう。

子どもが世界をとらえる認知力は幼稚園時代に大きく成長します。その成長を支えているのが、脳の発達です。

脳の発達に欠かせないのが 十分な栄養と睡眠、そして運動です。脳を活発に動かし記憶力を高めてくれるのはなんと 筋肉をしっかり使った運動なのだそうです。歩いたり走ったりすることが脳を刺激して、活発に働くようになるのだそうです。子どもは動き回るのが仕事というくらい本来は走り回っているものでしたね。それが実は脳も育てていたのですね。

コロナ禍で外遊びもままならなかった子どもたちです。ぜひこれからは 鬼ごっこやかくれんぼ、おしくらまんじゅうなどなど、昔から子どもたちが楽しく体を動かしてきた遊びの場を作ってあげたいと思います。感染症から体を守るのはしっかりした体力と免疫力です。免疫力は楽しいときに高まるといわれています。そうだとすれば仲間と楽しい遊びを十分にすることが、子どもの健康を守ることに繋がっていかないでしょうか。人との接触を避けることは 免疫力を下げってしまうことにもなりかねませんね。

もう一つ、子どもの脳と体の成長を支えてくれているのが、睡眠ですね。

ぐっすり眠っていると夜の10時ごろから2時ごろに成長ホルモンが出てくるのだそうです。幼稚園時代に必要な睡眠時間は10~13時間といわれています。しっかり眠っている間に脳は昼間の体験を整理して記憶していくそう

です。夢を見たり、時には寝言を言ったりするのも そのためのようです。

厚生労働省の標語に『早寝早起き朝ごはん』というのがあります。小学生への調査ですが、朝ごはんをちゃんと食べてきたお子さんのほうが成績が良い傾向にあるという結果が出たということです。脳がしっかり働くためのエネルギーは、まず朝ごはんということですね。栄養と睡眠が足りていれば子どもは午前中元気でいられます。そうすると体もいっぱい動かせるし、そこで体験したことをしっかり自分のものにすることができますね。いいこといっぱいです。子どもの生活リズムを整えられるのは家庭だけです。第二の子宮と呼ばれるくらい大切な家庭の中で 子どもたちは守られてお世話をされて、はぐくまれていくのですね。家庭で満たされた心と体で 子どもたちは幼稚園や小学校という社会に船出していきます。

この1年の成長を確認して喜べたら、「きっと大丈夫。こんなに色々できるようになったのだもの」と 次の学年・学校への不安も和らいで楽しみに待てるのではないのでしょうか。子どもは必ず育ってくれます。育つ過程でいろいろと悩みが出てくるのもあたりまえです。子どもの育ちには波があります。まっすぐとはいかないのですね。心配なこと・ちょっと気になることなどなんでも、どうぞ私たちにもご相談ください。ご一緒に考えてまいります。

子育て教育相談室

【相談日】

【受付時間】

第2・4火曜日・毎週金曜日
(年末年始、祝祭日を除く)

10時~12時 / 13時~15時



公認心理師が、あなたと
一緒に考えます

ひとりで悩まないで...



相談専用ダイヤル

045-534-8837

公益社団法人 横浜市幼稚園協会

<https://www.kids-yokohama.or.jp>



相談の事前予約は
こちらから